

平成29年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<ul style="list-style-type: none">■ 一般入試■ 外国人留学生特別入試■ 社会人特別入試
試験科目名	<ul style="list-style-type: none">■ 専門試験（ 心理学 ）□ 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>心理学、心理学研究法、統計学の考え方や、基本的な用語・概念、心理学の発展に貢献した人物についての知識を問うために「語句問題」を課す。また、それらを応用して人の行動や様々な現象について考える力や、特定の実験方法やデータ分析を客観的に評価したり対案を出したりする力、さらには実際にデータを分析し結果を解釈する力などを問うために「文章問題」を課す。</p>

平成29年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 心理学 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 6枚を配付する。

解答用紙6枚は以下の通りに使用する。問1から問3については、それぞれ1枚ずつ解答用紙を用いること。問4は8つの用語・人名のうち5つを選択したうえで、1枚の解答用紙を用いること。残り2枚は下書き用とする。

次の問すべてについて解答しなさい。

問1 ある研究者らは、購入を促す新聞広告のデザイン手法を明らかにすることを目的として、図1と2（問題用紙3枚目）に示すような広告を新聞に掲載し、下の図3のような結果を得た。そして、「小さな写真でも商品理解を促す具体例（この場合は、A デザインに入っている蜂蜜をすくうカット）を示せば購入に大きく影響する」と結論づけた。この研究に含まれる剰余変数、交絡要因の可能性を指摘した上で、実験方法の改善案を挙げなさい。

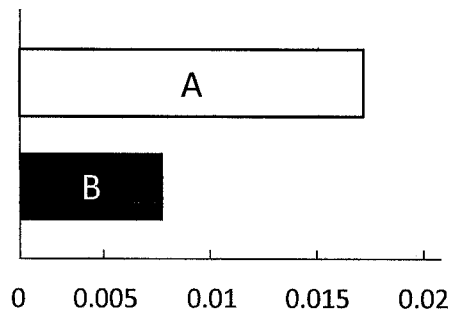


図3 A, B デザインのレスポンス率
(商品注文数 ÷ 新聞発行部数)

問2 現代では、デジタルカメラ等の進歩によって外界を簡単に画像として表現できてしまう。一方私たち人間も、感覚・知覚システムを使って簡単に外界を脳内に表現している。この機械と人間という二つのシステムによる外界の表現は、どのような点で類似しており、またどのような点で異なるのだろうか。対比して述べなさい。

問3 あるA大学の男女比が1対1だったとする。このA大学の茶道部の部員を調べたところ男性が12名、女性が18名であった。この茶道部の男女比はA大学全体の男女比とは有意に異なるといえるか、カイ2乗検定を用いて有意水準5%で検定しなさい。必要であれば問題用紙2枚目の「カイ2乗分布表」を用いること。

カイ2乗分布表（カイ2乗の臨界値）

自由度	有意水準	
	0.05	0.01
1	3.84	6.63
2	5.99	9.21
3	7.81	11.34
4	9.49	13.28
5	11.07	15.09
6	12.59	16.81
7	14.07	18.48
8	15.51	20.09
9	16.92	21.67
10	18.31	23.21
11	19.68	24.72
12	21.03	26.22
13	22.36	27.69
14	23.68	29.14
15	25.00	30.58
16	26.30	32.00
17	27.59	33.41
18	28.87	34.81
19	30.14	36.19
20	31.41	37.57

問4 次の用語・人名を簡単に説明しなさい。ただし、下記8つのうち5つを選択して解答すること。（5つを超えて解答した場合、点数の上位から5つ分のみを最終成績の対象とする。）

- ① 反応バイアス (response bias)
- ② エピソード・バッファ (episodic buffer)
- ③ 極限法 (method of limits)
- ④ 負の強化子 (negative reinforcement)
- ⑤ 注意の瞬き (attentional blink)
- ⑥ 決定係数 (coefficient of determination)
- ⑦ ホーソン効果 (Hawthorne effect)
- ⑧ D. ウェクスラー (David Wechsler)

- * 図1と図2に示された広告デザイン自体は、出題者が作成したオリジナルですが、それに使われているイメージはさまざまなウェブから取得したものです。著作権法上の理由からこのホームページに掲載することは不適切と考えられるため、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

図1 通販新聞広告Aデザイン: 東京日本新聞夕刊一面 2016年5月掲載

図2 通販新聞広告Bデザイン: 東京日本新聞夕刊一面 2016年6月掲載